

令和7年度第1回病院改革評価委員会の提案

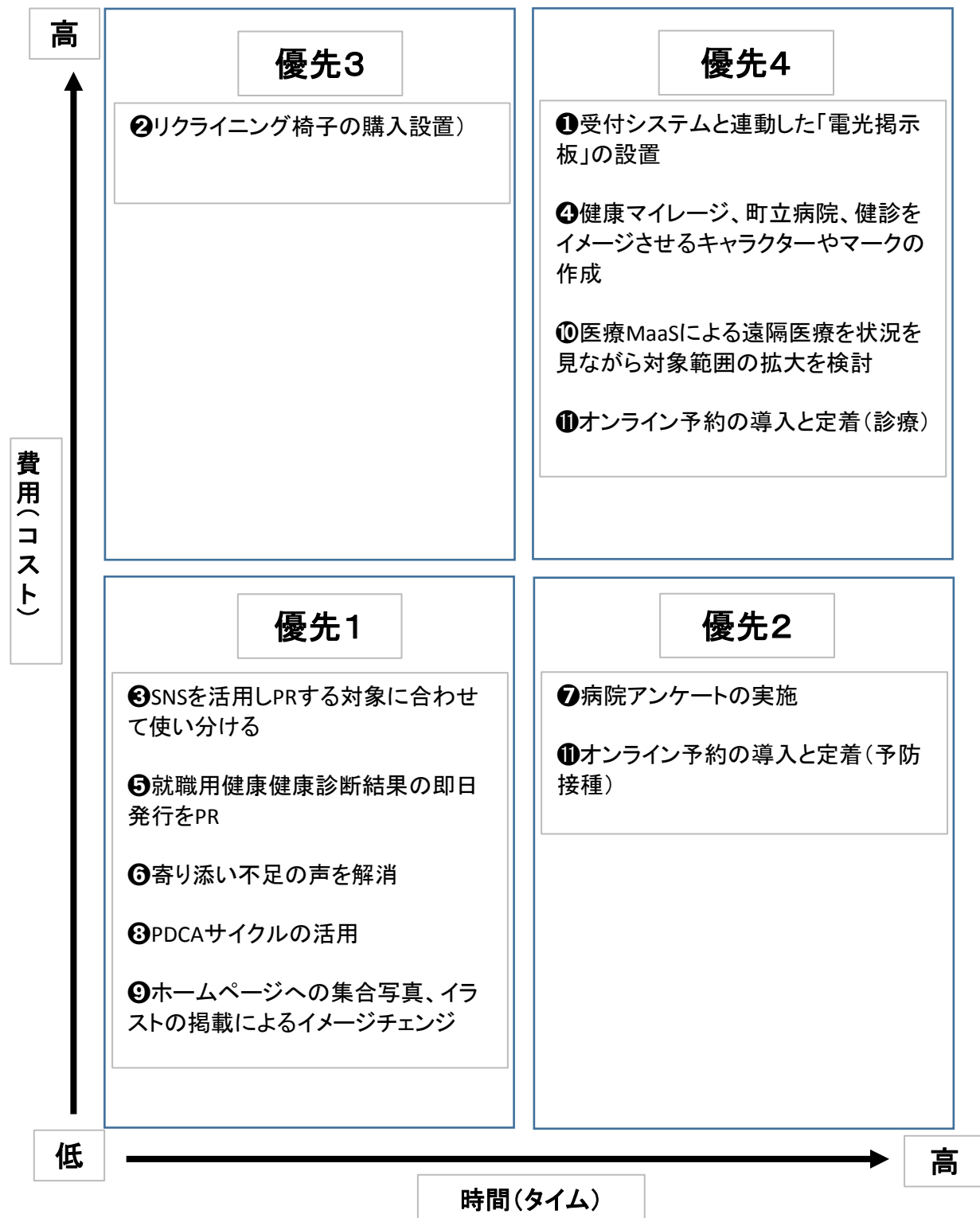
【資料1】

●評価委員からの意見提案を実際の事業に落とし込み、事業実施の可否と優先順位を検討します。

分野	課題	意見提案	具体的な事項	具体的な対応方法	費用	時間	優先順位 (1⇒4)	事業実施 可/否	備考
高齢者対応	待ち時間の不安	待ち時間の見える化	❶待合室に電光掲示板の設置	受付システムと連動するシステム導入	高	高	4	否	
				診察している現在の予約時間枠の掲示	低	低	1	可:対応済	30分単位で診療状況を掲示
	座席の不快感	待合室ヘリクライニング椅子の設置	❷リクライニング椅子の購入	購入して設置	高	低	3	可:対応済	声がけして「処置室」のベットへ誘導
健康診断	PR不足	健康診断のPR不足	❸SNS(LINE、Facebook Twitterなど)を活用し、PRの対象に合わせて使い分ける	・次年度の案内の際、PR手法を検討する(健診に要する時間を表示、内視鏡検査をよりPRするなど)	低	低	1	可:R8実施 R8_①ウ) R8_④イ)	健康福祉課との協議調整が不可欠
			❹「健康マイレージ」、「町立病院」、「健診」の統一したブランドイメージのキャラクター、マークの作成	・既存のキャラクター(ガッさん)の活用 ・封筒やPRチラシへ使用	高	高	4	可:随時対応	既存の「ガッさん」キャラクターデザインや封筒の印刷費用による
	件数減少	就職用健康診断のPR不足	❺就職用健康診断結果の即日発行をPR	・病院ホームページやお知らせ、つながるくんでPR配信	低	低	1	可:R8実施 R8_①ウ) R8_④イ)	PRの強化
接遇対応	接遇改善	接遇改善	❻寄り添い不足の声	・良い評価をいただいている面もある ・病院全体で接遇改善の底上げ ・病院内での情報・意識の共有を図る	低	低	1	可:随時対応 R8_③イ)	不断の対応
			❼アンケート導入	・つながるくんアンケート ・病院待合室でのアンケート	低	高	2	可:R8実施	
		不断な業務改善	❸PDCAサイクルの活用	P(計画)・D(実行)・C(評価)・A(改善)を繰り返して常に事業の見直しを図る	低	低	1	可:対応済	年2回の病院改革評価委員会での評価を基に見直し
情報発信	硬いイメージのHP	硬いイメージを脱却	❹医師や職員の写真を掲載、ゆるいブログの掲載など	・ホームページ内に写真やイラストを掲載	低	低	1	可:対応済	病院HPのトップ画面に写真掲載
医療MaaS	対象範囲の限定	町内を中心に運用しながら利用を拡大	❽医療MaaSによる遠隔医療を状況を見ながら対象範囲の拡大を検討	・初年度は西川町内での運用 ・町外での運用は、西村山医師会、周辺自治体との調整もあるため、要検討	高	高	4	可:R8実施 R8_⑤イ)	事業実施時は小さく開始し徐々に町内で拡大
予約システム	電話予約の負担軽減	オンライン予約の導入と定着	❿オンライン予約の導入と定着	・診療のオンライン予約システムの導入 ・予防接種のオンライン予約は電話予約と並行して実施 ・徐々にオンライン予約にシフトをしつつも高齢者を対象にした電話予約は残す	高	高	4	(予防接種オンライン予約) 可:R8実施 R8_⑤ウ)	・診療のオンライン予約システムは導入しない ・予防接種のオンライン予約システムは令和7年度予算で導入し令和8年度に稼働
					低	高	2		

優先順位の判断基準

費用と時間から判断する優先順位の振分け4事象



判断基準

優先1: 事業実施のための費用が低く、実施にいたるまでの時間も短い

優先2: 事業実施のための費用が低い、実施にいたるまで時間がかかる

優先3: 事業実施のための費用が高く、実施にいたるまでの時間は短い

優先4: 事業実施のための費用が高く、実施にいたるまでの時間も長くかかる